

明けまして、おめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに輝かしい令和8年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

本日ここに、令和8年松田町賀詞交換会並びに表彰式を挙行いたしましたところ、年始のご多用の折にもかかわらず、ご来賓をはじめ、多くの町民の皆様方にご臨席を賜り、開催できますことを厚くお礼申し上げます。

本日、表彰をお受けになれる皆様は、長年にわたり町政伸展のため、様々な分野で地域の発展に力を注がれ、他の模範となる優れた功績を挙げられた方々でございます。

栄えある自治功労章を受章されます2名の方、一般表彰を受賞されます5名と1団体の方々、感謝状をお受けになれる2名の方々、それぞれの功績を称えるとともに、感謝の意を表すべく、ここに表彰をさせていただくものでございます。

誠におめでとうございます。

昨年を振り返りますと、先ず、全国各地にて地震や火災等が多発した印象が強く残った年でした。令和7年7月3日には、鹿児島県トカラ列島沖にて、最大震度6弱を観測し、12月8日には、青森県東方沖にて発生した地震では、青森県八戸市で最大震度6強を観測し、津波注意報が発表されました。

また、大分県大分市佐賀関での大規模な住宅火災や岩手県大船渡市や岡山県岡山市、県内では伊勢原市日向山でも林野火災が発生するなど、大規模な火災が発生しました。

更には、令和7年の世相を写す漢字として「熊」の文字が選ばれるほど、昨年は熊に襲われる被害が北海道や東北地方で相次ぎ、それをキッカとして市町村長の判断にて市街地での、猟銃による発砲を認める「緊急銃猟」ができるようになりました。12月に環境省が発表した4月から11月までの全国の熊による人身被害件数は230件で、うち13名の方が亡くなっています。神奈川県では、13年ぶりに熊の個体数調査を行い、それまで40頭といていた個体数を80頭に修

正するまで増加しています。本町においても熊の目撃情報は多数発生しており、幸いにも人的被害は発生していない状況ですが、今後も「緊急銃猟」も含めた熊対策について、町独自のマニュアル作成などに取り組み、対策を強化して参ります。

一方、国内外の情勢に目を向けますと、長期化する国際秩序の乱れや円安などの影響を受け、物価高によるコメ価格の高騰により、政府備蓄米の放出など、食料品を初めとする、生活必需品や燃料費など、地域経済や住民の暮らしに、今もなお大きな影響を与え続けております。

その様な中、4月13日から10月13日までの間、20年ぶりに日本で開催されました国際博覧会「大阪・関西万博」では、世界¹⁵⁸の国・地域が参加し、公式キャラクターである「ミヤクミヤク」や世界最大の木造建築物である「大屋根リング」など多くの話題を提供するなど万博全体では、開催された六か月の間で、²⁵⁵⁷万人を超える方が来場され、大盛況のうちに閉幕しました。

また、夏の全国高校野球選手権神奈川大会で

は、地元の立花学園野球部が横浜高校と準決勝で対戦し、立花学園は、先取点をとるなど、横浜高校と互角の試合を展開しましたが、終盤に逆転され、4対3でゲームセットとなりました。全国屈指の強豪校でもある横浜高校に一步も引かない立花学園の選手たちの活躍は、夏の選手権大会、県ベスト4という歴代最高の成績を残し、今後、甲子園出場へ大きな期待と、私たち、松田町民に大きな勇気と感動を与えてくれました。

さらにアメリカのメジャーリーグでは、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手が2年ぶりに2刀流として復活し、リーグMVP（最優秀選手賞）の受賞やワールドシリーズでの山本由伸選手の中0日登板、佐々木朗希選手のクローザーとしての活躍など、ドジャースが2年連続9度目の制覇を果しました。

また、国政においても10月21日に、憲政史上初の女性総理大臣として、第107代内閣総理大臣に高市早苗氏が任命され、高市内閣が発足されました。

町内では、町民の皆様に笑顔を届ける「ニュ

ース」として、松田町・寄村合併70周年を迎えました。70周年の節目の年を盛り上げる様々なイベントとして、6月には「松田町・寄村合併70周年記念式典」を開催、10月には、町ふるさと大使の渡辺元智さんの野球教室と町食育アドバイザー渡邊元美さんの講演会、元横綱・照ノ富士の伊勢ヶ濱親方さんと元なでしこジャパンのメンバー「澤穂希さん・阪口夢穂さん・宮間あやさん・岩渕真奈さん」も参加された「まつだスポーツフェスティバル」や「第2回松田サミット」の開催、さらに11月には、サンリオキャラクターによるミュージカル、12月には、16年ぶりとなるテレビ東京の「なんでも鑑定団」の収録を松田町にて開催しました。放送は、2月中の予定と伺っています。

また、施設などの整備につきましては、かなん沢・中里自治会と湯の沢自治会の各集会施設の改修と第4分団車両の更新、12月には、町民・利用者の積年の夢の実現に近づく、新松田駅北口地区市街地再開発事業の都市計画決定を行いました。

さらに、松田小学校体育館へのエアコン設置

工事や寄小学校と寄自然休養村管理センターの大規模改修工事、松田中学校と寄みやまグラウンドの整備が本年3月までに完成する予定です。

ここで、令和7年1月から12月末までの1年間の人口推移を申し上げます。自然増減では、出生45人、死亡161人で116人の減、社会増減では、転入774人、転出697人で77人の増となり、全体では39人減少に留まり、人口減少のスピードがコロナ前と同様に緩やかになりました。今後も様々な課題解決に向けて、具体的な事業に取り組み、人口減少のスピードを更に緩やかにして参ります。

さて、松田町は、令和3年に県内14町村の中で唯一SDGs未来都市として選定されている自治体として誇りを持ち、今年の干支は、60年

ひのえうま

ぶりとなる「丙午」。その特徴は「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった縁起の良い意味合いを持つとされていますので、5年目を迎える「チルドレンファースト」を念頭に本年は、更に一歩踏

み込んだ “子ども・子育て応援条例” を制定し
“子どもたちが住みたい・住み続けたいまち”
Ⅱ親子三世代が一緒に・近くに住み続けてくれ
るまちを目指し、子どもから高齢者が共に安心
して暮らせるよう情熱的に取り組んで参ります。
それでは、令和8年度に予定している各施策
について、分野ごとに事業の一端を申し上げま
す。

デジタル化の推進に関する施策です。令和5
年度にデジタルファースト推進協議会を立ち上
げ、町に支払う各種手数料のキャッシュレス決裁
やマイナンバーカードの普及促進や行政手続き
のオンライン化など行政サービス等のデジタル
化について、引き続き、進めて参ります。

次に安全・安心に向けた施策として、自然災害
はいつ来てもおかしくない状況には変わりはい
りませんので、有事の際に町民の生命・財産を守
る対策の強化を行って参ります。特に災害時に
は、寄地区が孤立化する可能性がありますので、
電力供給など必要なライフラインの確保ができ
るよう対策を行います。また、町民の避難や救援

に關することや、平常時に備えておく物資などの周知を図って参ります。今後も多様な自然災害を想定し、町民の安全安心を第一に考え、国・県はもとより、町内自主防災会と松田町消防団との連携、協力を賜わりながら、組織の危機管理体制を強化して参ります。

次に福祉施策です。これまでの事業は基本的に継続しながら、特に高齢者の独居の方を対象に緊急時の通報装置や遠方にお住いのご家族とコミュニケーションを可能にするデジタル技術を活用した見守り活動の事業や低所得者支援を行って参ります。

また、物価高騰など生活環境の変化に対応するための支援や高齢者などの移動手段を確保するため、75歳以上の高齢者や65歳以上の免許返納者ならびに妊産婦さんを対象に、公共交通の利用料金の一部助成も引き続き、継続して参ります。

地域公共交通対策を推進する新たな交通施策として、行ってきたオンデマンドバス事業は、本年3月末にて、3年間の実証実験が終了します。

実証実験で得た内容をもとに、新年度からの運行継続の可否について検討をし、松田町に合った移動手段を整えて参ります。

次に子ども・子育て世代への施策です。

子ども・子育て世代への経済支援として昨年からスタートしました、8つのゼロの継続を行います。内容は、「18歳までの小児医療費ゼロ」、「第2子の保育料ゼロ」、「学童保育保護者負担ゼロ」、「小・中学校の給食費負担ゼロ」、「英語検定受験料負担ゼロ」などに加えて、来年度からは、「幼稚園・保育園の副食費ゼロ」を目指し、子育て世代の経済的支援を行って参ります。

また、保護者のニーズの一助となる様、「小1の壁」と言われる課題の解消や、保育所との連携を強化しながら待機児童ゼロを目指し、子どもを預ける場所の確保や、認定子ども園の設置に向けた協議を引き続き、進めていきます。

さらに子どもや子育て世代が安心して遊ぶことができる公園の環境整備を進め、子どもや、子育てを地域全体で支える取り組みを進めて参ります。

次にまちづくり施策です。

町の最重要施策であります新松田駅周辺整備事業につきましては、令和6年3月に新松田駅北口地区市街地再開発準備組合の臨時総会において事業協力者が決定し、現在まで、準備組合の皆様など地権者の方々との調整を重ねてきています。昨年11月に開催された松田町都市計画審議会の審議を経て、松田町が12月1日に市街地再開発事業の都市計画決定を行いました。令和8年度には事業主体となる再開発組合の設立が予定されており、10年度に工事着手、11年度には、再開発ビルや駅前広場整備の完了を目指されていますので、町も事業主体と連携し、取り組んで参ります。

さらに、町内にある官・民が所有する遊休地の宅地化を引き続き推進し、併せて空き家対策や「住まい」に関わる各種補助制度を通じて、移住・定住促進施策による人口増加策にも積極的に取り組んでいきます。

今年も昨年と同様に「積年の夢」の実現に向けた、大切な年となりますので、引き続き、町民・

議会の皆様の御理解・御協力をお願い致します。

次に農林業施策になります。ヤマビル被害や有害鳥獣による農作物被害等を抑制する対策を継続するには、町猟友会（鳥獣被害対策実施隊）の皆様の御協力は必要不可欠であり、その活動及び存在は極めて重要です。町では昨年、猟友会の皆様の処遇などの充実を図ることを目的として、会員の身分保障を明確化する新たな条例の制定を行いました。

また、令和5年に、足柄上郡5町とかながわ西湘農業協同組合様との共同により開設した「あしがらジビエ工房」では、良質な鹿・猪の「ジビエ肉」を足柄上地域の新たな地域資源としてブランド品になることを目指しています。引き続き、営農被害の抑制により、農業振興を図り、地域の安全確保と資源循環を推進し、より効率的で持続可能な運営となるよう取り組んで参ります。

さらには、クマ対策として、「クマ撃退スプレ―購入補助」や「放任果樹伐採補助」、遊休農地対策として「新規就農者増加策の推進」などについて、引き続き、取り組んで参ります。

次に地域経済施策です。

観光を主体とした事業では、松田山の優れた自然環境や眺望を活かすとともに、農地や森林の保全を図り、調和のとれた活性化方策について「松田山活性化検討協議会」から報告書が提出され、また、令和5年に設置した「寄地区活性化協議会」では、寄地区の持続可能な地域づくりのため、人口減少対策や地域活性化の協議を行って頂いております。各協議会での協議内容を踏まえた事業の実現に向けた計画の策定に取り組むほか、民間主体での事業実施に対して支援を行って参ります。

次に寄地区振興施策です。

令和5年3月に「寄地区の幼稚園・学校教育について」の検討委員会からの提言を受け、寄幼稚園・寄小学校の存続を目的とした寄地域の活性化に繋がる事業を推進するため、旧寄中や寄管理センター、寄みやまグラウンドやテニスコートについても、計画的に既存の施設等の改修を行っており、寄みやまグラウンドにつきましては、人工芝生化を行ったことにより、前年度と比

較して、利用者が6.6倍、収入は8.7倍に増加しております。

現在、大規模改修工事中の寄管理センターは、浴室を広くし、新たにサウナや地場産品も買える売店の設置、宿泊環境を整備するなど、施設の充実を図り、多様なスポーツ団体などの受入ができる環境を整えています。

今後は、運営面での強化を図り、町全体にて、「スポーツツーリズム」を推進し、幅広い層が集うエリアとしてPR活動に取り組むとともに、地域にある資源を積極的に活かし、地元の方や団体と連携することで、スポーツによる関係人口の増加による賑わいと雇用の創出、地域経済の活性化を図るなど、地域が発展していくよう、引き続き取り組んで参ります。

次に教育施策です。先ず、ハード面について申し上げます。

子ども達の学びのための環境整備について、令和2年から4年度にかけて、全国4例目となる木造3階建て校舎として、47年ぶりとなる松田小学校の建替え工事を皮切りに、令和5年か

ら7年度に松田中学校、令和6年度に松田幼稚園、令和7年度に寄小学校の大規模改修工事などを行つて参りました。

8年度は、松田中学校の屋内運動場にエアコン設置の準備として断熱工事等を行うほか、グランド照明のLED化も予定しています。

次にソフト面について申し上げますと、

国のギガスクール構想により、町立小中学校の全児童・生徒が使用するタブレットの更新を順次行い、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びを進めるほか、学校DXのための基盤構築を進めて参ります。

また、グローバル人材育成を目指すため、外国語指導助手（ALT）の各校・各園への配置を継続し、小中学校以外にも、保育園・幼稚園・学童保育など、きめ細やかで一貫した英語へのふれあいの機会を提供し、更に中学校の授業における、海外とのオンライン授業の実施や小中学生の頑張りを応援する英語検定の補助など、様々な機会を捉え、重点的に英語教育に取り組んで参ります。

生涯学習センターについては、国際交流の拠点としての活用強化や、大ホールを各種発表会や文化祭、映画、町民カラオケ大会等の会場として利用するなど、これまでの事業を継続しながら、町民の文化向上を育み、多種多様な町民の憩いの場となる総合的な生涯学習施設として、引き続き、利活用の推進を図って参ります。

次に近日の町内観光イベントについて、皆様にお知らせいたします。

西平畑公園では、成人された皆さんを祝し、特別に1月11日のみ、イルミネーションを再点灯いたします。ぜひ、皆様も共に次世代を担う私たちの方を祝福していただけると幸いです。

また、寄ロウバイまつりは、1月17日から2月15日まで、まつだ桜まつりは、2月14日から3月8日まで開催する予定です。

松田町の里山が春の訪れにより、黄金色やピンク色に染まる模様は心身ともに癒してくれます。是非、ご来賓、町民の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

最後に、令和8年度は、町の第6次総合計画

（未来予想図）の最終計画年度を迎えます。現在の計画に示す多種多様な事業の達成に向けて官民連携による「稼ぐマチ」へ進化し続けるとともに、町民の皆さまの声を集め、新たな8年間分の総合計画策定を進めて参ります。

「行政は財政」と言う言葉がある様に、時代の転換期だからこそ、経営感覚を持った行財政運営が必要でありますので、今後も官民連携による町財政の強化を図る為、町民・企業・団体・議会・行政が一丸となり「強い信念」と「米百俵の精神」をもって、「未来に責任ある」まちづくりを情熱的かつ強力に推進して参ります。

本日は、この後、毎年恒例の松田町が生んだスター・パースター、松田町のふるさと大使でもあります、北川大介さんの「新春おもてなしコンサート」が開催されます。

更に今年は、音楽プロデューサーのミニ・Pさんによるまちのうた「未来へ」のお披露目もございませうのであわせてお楽しみください。

結びに、本年は町民皆さまの願いが叶い、全て

「ウマくいく」ことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和8年1月5日

松田町長 本山 博幸

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。